

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター歩路		
○保護者評価実施期間	令和6年12月7日		～ 令和6年12月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	47	(回答者数) 29
○従業者評価実施期間	令和6年12月27日		～ 令和7年1月9日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 13
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月27日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちが楽しみながら、学びにつながる活動の提供や工夫を行っています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月、各クラスで活動の計画やねらいを設定する機会を設けています。</li> <li>・お子さま達が楽しみながら、さまざまな経験ができるよう、職員間でアイデアを出し合い実践しています。</li> <li>・セラピストからの助言を取り入れ、より専門性のある活動の提供に努めています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、多角的なアセスメントを行い、お子さま達の実態に応じた活動を提供します。</li> </ul>
2	個別相談や保護者会、きょうだい児支援会等、家族支援にも力を入れ、計画的に実践しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別相談に関しては、保護者からの依頼だけでなく、事業所からも積極的に保護者へ働きかけ、電話連絡等を行いながら、支援を行っています。</li> <li>・保護者会では学びに繋がる講話や茶話会を実施し、保護者同士のつながりを大切にしています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで実施している行事を計画的に実施するとともに、よりご家族が安心して子育てができるようなサポートの在り方を検討し、実践します。</li> </ul>
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事故発生時の対応や、災害マニュアル等の周知の方法について改善が必要だと感じます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者へ周知する機会の確保が必要だと感じています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約時に事故発生時の対応、災害マニュアル等の設置場所について、具体的に説明します。</li> </ul>
2	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の子どもたちと活動する機会の確保、支援等への工夫が必要だと感じています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所内でのクラス交流を実施し、発達段階や障害の有無を問わず、さまざまな人と関わる機会や地域資源を活用した園外療育等を実施し、地域とのつながりの機会の確保に努めていますが、地域のお子さまたちと一緒に活動する機会については、どのような形で実施できるか検討する必要があると思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、地域で他の子どもと活動する機会の確保や支援の在り方について検討し、実践します。</li> </ul>

--	--	--	--